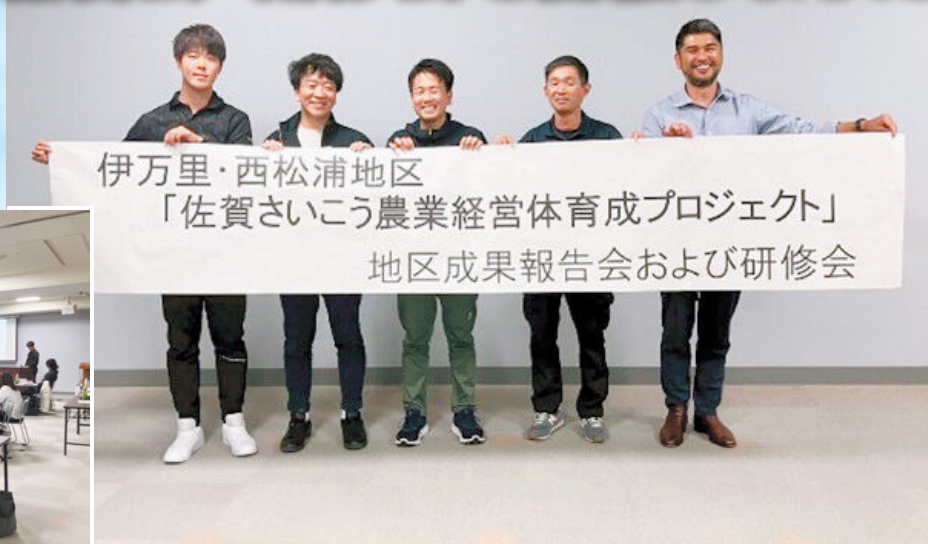


くにみ

発行：佐賀県 伊万里農林事務所
西松浦農業振興センターTEL(0955)23-5128 FAX(0955)23-5138
imarinourin@pref.saga.lg.jp

NEWS TOPICS

佐賀さいこう農業経営体育成プロジェクト
地区成果報告会・研修会を開催しました

11月10日に「佐賀さいこう農業経営体育成プロジェクト」の地区成果報告会・研修会を開催しました。

本プロジェクトは、佐賀農業をけん引するトップレベルの農業経営体「佐賀さいこう農業経営体」を育成する、令和3～7年度で取り組んでいる佐賀県重点プロジェクトです。この成果を当地区に波及させるため開催し、14名の農業者にご参加いただきました。

5名の対象経営体から、5年間の活動内容や成果、今後の目標を報告し、参加者からは、「若手経営者の素晴らしい経営を知り、励みになった」「実際に行動して経営に取り入れることが大事と思った」との感想がありました。

また研修会は、株式会社アテンドの福成有美先生を講師に、「しなやかな組織成長のための人材育成」～人を育てる、チームをつくる～というテーマでワークショップを交えながら、開催しました。家族や雇用者と共に仕事をしていくうえで必要になるコミュニケーションや、これからの当地区の農業について参加者みんなで考えました。参加者からは、「言語化する大事さが学べた」「他の農家と話ができて良い時間となった」との感想がありました。

本プロジェクトの活動は今年度で終了となりますが、今後も佐賀県農業をけん引する農業経営体の育成に取り組んでいきます。

地域農業を牽引する農業者の皆様

佐賀農業賞受賞

先進的農業経営者の部

最優秀賞 農林水産大臣賞

中山 道德氏 (伊万里市)



とが期待
されます。

現在、施設きゅうりで大規模な雇用型経営を行われています。「答えはすべてハウスの中にある」の考えのもと、栽培技術を磨かれる中で平成30年には県内初となる隔離地での養液栽培方式を導入された他、働きやすい環境作りにも取り組まれ、非常に先進的に活動されています。
経営理念として「共感、共有、共存」を掲げるなかで、産地の維持・発展を常に考えられており、JA伊万里きゅうり部会及びその若手グループである「胡青会」では仲間と共に切磋琢磨するとともに、新規就農者に向けた研修会を開催する等、積極的な活動が行われています。
今後も地域のリーダー的な存在として部会で一丸となって地域農業を盛り上げるこ

若い農業経営者の部

優秀賞

井手亜理紗氏・真也氏 (伊万里市)



なること
が期待さ
れます。

亜理紗氏の「農業をしたい」という思いから大学卒業後に就農。施設きゅうりに取り組まれ、その後結婚を機に規模拡大を進め、夫や父と協力しながら「自分達らしい」農業経営を目指して活動されています。
日々の圃場の観察と細やかな樹の手入れ、作業環境の整理といった「丁寧な」農業経営を行われており、いつ圃場を訪ねても病害虫が抑えられ、樹勢を維持されています。家庭・育児の時間を大事にされる中、作業の効率化・省力化を目指して環境制御や天敵資材を積極的に導入されており、また経費の見直しを日々行うことで所得向上を目指されています。更なる反収向上を目指して地域の仲間と情報交換を行い、研鑽を積まれており、地域のモデル的な農家になること

地域農業活性化の部

優秀賞

Jajaの森工房・みぞ加工グループ (有田町)



消」「食農教育」の取組を充実させ、地域の農業振興や農村地域の活性化に貢献されること
が期待されます。

Jajaの森工房・みぞ加工グループは平成4年、農村女性自らによる①農産加工・手作りの良さを地域と後世に伝承し、②消費者との交流をすすめる、③地域特産品の生産拡大をし、④JA女性部の協同活動によって、ゆとりとふれあい、たすけあいのある快適なまちづくりの4つを目的として組織されました。みぞづくりの活動を通して自らの農業経営の改善や地元のPRだけでなく、地域の子どもたちや消費者にも食と農の大切さ、手作りの良さを伝える取組が行われてきました。
今後も「地産地消」「食農教育」の取組を充実させ、地域の農業振興や農村地域の活性化に貢献されること
が期待されます。



伊万里・有田地区農業の担い手確保に向けて

伊万里・有田地区では、新たな農業の担い手確保に向けて県、市町、JA、農業者が一体となって伊万里・有田農業のPRや就農希望者の呼び込み、研修体制の整備に取り組んでいます。

【取組1】 就農希望者の呼び込み (就農セミナー)

〈果樹〉

10月5日に、「伊万里・有田果樹就農セミナー(梨・キウイ・みかん)」を開催し、4名の方が参加されました。室内でJA伊万里果樹栽培の概要と農業を始める方への支援策についての情報提供を行いました。続いて、伊万里市内のみかん・キウイ園地、梨園地を見学し、農業者の方との意見交換や梨の収穫体験を行いました。農業者の方からは、やりがいや作業の大変なことなどをお話しいただきました。



〈いちご・アスパラガス〉

1月25日に、「いちご・アスパラガス就農セミナー」を開催し、10組13名の方が参加されました。室内で伊万里・有田地区でのいちご、アスパラガス生産概況や就農支援策についての情報提供を行いました。その後、伊万里市大川町のいちご圃場で栽培状況やいちご栽培を始めるきっかけなどの体験談について話を聞き、セミナー参加者から多くの質問も出て活発な意見交換ができました。「実際に農業経営者の声を聞くことができよかった」との声が聞かれました。



【取組2】 研修体制の整備 (トレーナー研修会)

JA伊万里や県、市町で構成される「伊万里・有田地区新規就農者育成協議会」では、いちご、アスパラガスのミニトレーニンングファームを設置し、特に新規就農者の育成に取り組んでいます。11月28日には、新規就農トレーナー制の先進地である三神地区へ、当地区の研修を担うトレーナー7名と視察研修に行きました。意見交換会では、新規就農者が自分で考える力をつけられるような指導の仕方など三神地区での工夫を学ぶことができました。



【取組3】 PR (インスタ開設)

このたび、西松浦農業振興センターの公式Instagramアカウントを開設しました！管内の農業の魅力や就農セミナーなどの最新情報を随時発信していきます。

ぜひチェックしてください！

アカウント名 [saga_imari_aria_nougyou] で検索いただくか、左記の二次元コードからぜひフォローしてください。



@SAGA_IMARIARITA_NOUGYOU

今後とも関係機関と農業者が一体となり新たな担い手の確保に向け、より一層、取組を強化していきます。

北ノ川内から中山間 地域を盛り上げる！

当センターでは、有田町北ノ川内集落をモデル集落に設定し、地域資源を活かした営農モデルの育成に取り組んでおり、その一環として、新規畑作物の作付け支援をしています。今年度はエダマメやトウモロコシ、蕎麦の作付けを推進し、収穫した作物は地域行事や集落内でのそば打ち体験会等への活用を促しました。集落の方からは、「農家・非農家を問わず、新たな交流が生まれて嬉しい」などの声上がり、今後は、この活動を通じて、さらなる地域活性化や



収益化に向けた取り組みを進めていきます。

新規就農者基礎講座を 開講しました

当センターでは今年度から、就農1～5年目の新規就農者や若手農業者、就農予定者を対象に、農業技術や農業経営に関する基礎知識を習得するための「新規就農者基礎講座」を開講しました。全4回の講座では、延べ24名の方が参加されました。

第1回から3回までは、農業経営の基礎知識、雑草と除草剤の使い方、農薬の使い方や主な病害虫、肥料や土づくりの基礎知識、土壌診断実習を行い、第4回講座では、農業機械安全の講座と、先輩農家2名（いちご・梨）の圃場見学を行いました。先輩農家からは経営の考え方やアドバイスを伺い、参加者の方からも先輩農家へ様々な質問がなされ、参加者の皆さんにとって、知り合い農家を増やす良い機会となりました。



次年度以降もこのような講座を開催し、基礎知識の習得はもちろんですが、新規就農者同士や先輩農家とのつながりづくりを支援していきます。



井手 裕司 氏
(伊万里市南波多町)

私は伊万里市南波多町で、梨を9・8反、桃を3・8反栽培しています。令和6年度に就農しました。

就農前は、農業とは異なる分野で経験を積んでいましたが、地元に戻った際に「園地を大切にし、果樹を育てていきたい」と思い、農業の道に進みました。

現在は、親の指導を受けながら、梨と桃の栽培技術を一つひとつ学んでいます。農業は決して簡単ではありませんが、その奥深さに魅力を感じています。季節ごとの変化や果樹の成長、収穫の喜び、そのすべてが新しい発見であり、挑戦です。

また、4Hクラブに加入し、同じ志を持つ仲間と出会えたことも大きな力になっています。情報を共有し、互いに刺激を受けながら、日々前進しています。

今後の目標は、技術を磨き、毎年の収量を向上させること。そして、農業の楽しさを発信し、若い仲間を増やして、伊万里の農業をさらに盛り上げていきたいと考えています。